

平成31年春季滋賀県連合子牛共進会・せり市結果

平成31年3月1日、高島市今津町の高島総合家畜市場で平成最後の春季滋賀県連合子牛共進会・せり市が開催されました。

出品頭数は、雌15頭、去勢30頭の合計45頭となり、昨年に続き出品頭数の多い活気あるせりとなりました。



午前中、共進会が行われ、最優秀賞に、東近江市の(株)田井中牧場さん生産の「拓実」号が選ばれました。本牛は、309日齢・体重324kg・体高124.0cm・胸囲158.0cmと発育、バランスおよび体積において素晴らしい評価でした。

午後からは、表彰式の後、せりが行われました。当市場においても、黒毛和種子牛の素牛価格は落ち着いてきているとはいえ、依然高い状態が続いています。

結果は、表の通りで、雌は最高774,000円・最低382,000円・平均価格602,067円、去勢は最高823,000円・最低526,000円・平均712,633円でした。

表

性別	出品頭数	最高額	最低額	1頭当り平均価格
雌	15	774,000	382,000	602,067
去勢	30	823,000	526,000	712,633
計	45			675,778

今回から畜産技術振興センターのキャトル・ステーションから初めての出品が行われました。今後も出品できる頭数を増やしていけるように、キャトル・ステーションのご利用をお願いしたいと思っております。キャトル・ステーションのご利用の一例として、肉用牛農家では270日齢までの預かりや哺乳期間のみ預かり等をご利用することができます。また、今年度から乳用牛雌子牛も買取りの対象になりました（買取りした子牛は、原則買取り農家へ売渡しとなります）。酪農家についても、乳用雌子牛の240日齢までの預かりや哺乳期間のみ預かり等をご利用することができます。

キャトル・ステーションの詳しい情報につきましては滋賀県農政水産部畜産課、畜産技術振興センター、家畜保健衛生所へお問い合わせください。（瀬川）